

第9学年〇組 英語科学習指導案

令和2年11月5日（木）3校時

指導教諭 ○○ ○○ 印

指導者 ○○ ○○ 印

1 単元名 NEW HORIZON English Course 3 Unit 6 Striving for a Better World

2 単元の目標

クラスメイトにその偉人の良さやすばらしさが伝わるように、生き方や名言、エピソードなどを、まとまりのある内容にして話すことができる。

3 内容のまとめ

話すこと (発表)	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
--------------	---

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・接触節、主格や目的格の関係代名詞 who, that, which を用いた文の構造を理解する。 ・好きな偉人について、その生き方や名言、エピソードをまとめ、接触節、主格や目的格の関係代名詞 who, that, which を用いて、まとまりのある内容にして話す技能を身に付けている。	・クラスメイトにその偉人の良さやすばらしさが伝わるように、生き方や名言、エピソードなどを、まとまりのある内容にして話している。	・クラスメイトにその偉人の良さやすばらしさが伝わるように、生き方や名言、エピソードなどを、まとまりのある内容にして話そうとしている。

5 基盤

- (1) 本単元では、世界をよりよくするために活躍した偉人が題材に取り上げられている。Starting Out ではノーベル平和賞受賞者、Activity 1 ではジョンレノン、Read and Think ではミャンマーの民主化に尽力したアウンサンスーチーと、人々にとって影響力のある偉人について学ぶことができる。接触節や関係代名詞(who, that, which)が文法事項として取り上げられており、人物が行ってきたことやその生き方について詳しく説明することができる。偉人の生き方を通して、よりよく生きるためのヒントを見つけたり、自分を見つめ、物事を広い視野から多面的に捉え、自分の生き方についての考えを深めたりするのに適した単元であると考えられる。
- (2) 本学級の生徒はチャットやプレゼンテーションなどの表現活動に対して、とても意欲的に取り組む。分からない表現があっても、自分なりに言い換えたり、絵やジェスチャーを使ったりするなど、伝えたいことを何とか伝えようと努力する生徒が多い。一方で、正確な英語を使って表現しなければならないという思いが強く、間

違いを恐れ、なかなか表現できないような場面も頻繁に見られる。指導に当たっては知識・技能面の理解を深めつつも、伝えたいような目的・場面・状況を設定したコミュニケーション活動となるよう工夫する必要がある。

- (3) 9年生最後の学習単元であり、数か月後に卒業を控える時期であることから、本単元のゴールを「クラスメイトがよりよく生きることができるよう、自分の好きな偉人を紹介しよう（プレゼン）」とした。相手意識をもってメッセージを伝える活動を工夫することで、積極的にコミュニケーションを図れるようにしたい。最初に、本単元で学習する後置修飾や、既習事項を活用し、偉人について詳しく、相手にとって分かりやすく説明できるようになるために、ALTに日本人の偉人を紹介する。次に、アウンサンスーチーの偉人紹介の概要をまとめることで、エピソードや生き方などをまとまりのある内容にして表現する方法を学ばせたい。発表する偉人のイメージが浮かばない生徒のために、教科書で取り上げられている偉人、ALTが紹介するアメリカの偉人、クラスメイトが思う偉人ランキングなどを聞くことで、一助としたい。

生徒はこれまでに、世界の国紹介、日本文化紹介、好きな本の紹介、1月に開催される全校英語プレゼンテーション大会（FEPC）など様々なプレゼンテーションに取り組んできた。これまでの学習を活かし、相手を意識した発表を目指すとともに、既習事項を活用することで、様々な表現ができるようになっていくことにも気づかせ、自信をもってコミュニケーションに取り組めるようにしたい。

6 指導と評価の計画

時間	ねらい（◎）・言語活動等（・）	知	思	態	備考
1	◎単元の目標を理解する。 ◎教科書の紹介文を読み、偉人について話し合う。 ・興味のある偉人について話し合う。 ・教科書の紹介文を読み、紹介されている偉人について話し合う。 ・紹介文で使われている接触節の構造と意味を理解する。				・単元を通して、聞き手を意識した紹介ができるように意識させる。 ・学習の振り返りは適宜行わせる。
2 本時	◎日本の偉人をALTに紹介する。 ・ALTから外国の偉人紹介を聞く。 ・中学生に人気の偉人ランキングを聞く。 ・紹介で使われている関係代名詞 who の構造と意味を理解する。 ・日本の偉人をALTに紹介する。				

3 4	◎教科書を読んで、アウンサンスーチーについて紹介する。 ・教科書の対話文，紹介文を読み，内容を理解する。 ・紹介文で使われている主格の関係代名詞 who，目的格の関係代名詞 that(which)の構造と意味を理解する。 ・本文からキーワードを抜き出し，話の概要をまとめ，アウンサンスーチーの紹介をする。				
5 6 7	◎クラスメイトに偉人を紹介する。(準備) ・偉人についての情報を集め，簡単なメモにする。 ・メモをもとに，偉人の紹介文を考える。 ・聞き手を意識した発表となるよう，工夫をする。 ・発表リハーサルをする。 ・プレゼンを見直し，改善する。				
8 9	◎クラスメイトに偉人を紹介する。 (パフォーマンステスト)	○	○	○	
後日	ペーパーテスト	○	○		

7 本時の学習

(1) 目標 人について説明する主格の関係代名詞 who を用いた文の構造を理解する。

(2) 展開 (2 / 9 時間)

学習場面と生徒の取組	教師の支援
1. Warm Up Greeting	
2. ショーン先生からアメリカの偉人についての紹介を聞く。	・アメリカの偉人を関係代名詞 who を用いて簡単に紹介し，文構造の理解を促す。
ショーン先生に日本の偉人を紹介しよう	
3. 9年生の「偉人」ランキングを聞く。 ・ランキングを聞く ・関係代名詞 who の練習	・関係代名詞 who を用いて紹介することで，情報をまとめて伝えることができることに気付かせる。 ・単元ゴールであるクラスメイトへの偉人紹介の参考となるようにする。 ・紹介の活動につなげやすくするため，それぞれの偉人がしたことなどに触れ，全体で共有する。

4. ランキングで出てきた偉人について，紹介の見出しとなるような文を考える。(ペア活動) ・教師のモデル対話を聞く ・即興で紹介する ・活動の振り返りをする ・ペアを変えて紹介をする ・ALT の先生に偉人紹介をする 5. 英文を書くことで本時を振り返る。	・教師と ALT の対話を聞くことで，活動のイメージをもてるようにする。 ・活動の途中で「言いたかったけど言えなかった表現」について共有し，表現の幅を広げられるようにする。 ・ここまでの活動において口頭で表現したことを書くことで，文構造に注目できるようにする。 見届けの視点 主格の関係代名詞 who を用いた文の構造を理解している。【評価方法 発言，ワークシート】
--	---

(3)見届けの視点

目標が達成されたと判断される状況	努力を要する状況への手立て
主格の関係代名詞 who の文構造を使って紹介したり書いたりしている。 例：This is the man who wrote Botchan.	ALT の外国の偉人紹介を振り返り，スライドを活用して関係代名詞 (who) の使い方を再度確認する。また発話の際に教師が言い直したり，書かれた英文を訂正したりする。多かった誤りがあれば，次時に全体で共有する。